

今号では、2月に開催された委員会の報告をお届けします。2月6日(月)に開催した発達障害医療支援体制検討特別委員会では、専門的医療機関で生じている長期の初診待機や地域における発達障害の診療医・専門医の不足、発達障害に係る医療機関相互や支援機関との連携体制の未構築等の課題解消に向けて、発達障害児・者の医療支援体制の整備について検討を重ねてまいりました。今回の委員会では、実施したアンケート調査の結果を報告するとともに、今後の取り組みの方向性を検討いたしました。詳細は報告をご確認ください。

皆さまのご要望やご意見などがございましたら、遠慮なく、事務局までお寄せください。また、過去の各委員会活動などは、地対協ホームページ(https://www.citaikyo.jp/)へ掲載していますので、アクセスをお待ちしております。

○脳卒中医療体制検討特別委員会

日 時:令和5年2月1日(水)19時45分

場所:Web会議

(広島県医師会館 7階 702会議室)

委員長:堀江 信貴

広島県が策定する「広島県循環器病対策推進 計画」の取り組み状況を報告し、次期計画の事 務局案について検討した。

協議事項

(1) 広島県循環器病対策推進計画 施策の取り 組み状況について

広島県健康づくり推進課より、広島県循環器病対策推進計画施策の取り組み状況について、「循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」「保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実」の2項目について説明があった。HMネットを活用したひろしま脳卒中地域連携パスの利用率が低い点については、令和5年度はパスの普及を図り、医療と介護の連携を強化していくと説明があった。

(2) 第2次広島県循環器病対策推進計画について

第2次広島県循環器病対策推進計画の策定に係る概要が説明された。計画期間は令和6(2024)年度から令和11(2029)年度までの6年間、重点的に取り組むべき課題として「循環器病の発症予防・重症化予防・再発予防(予防)」「循環器病に係る質が高く適切な保健医療提供体制の確保(医療)」「循環器病患者の意思や希望が尊重され、安心して暮らせる社会の構築(共生)」の3点が挙げられた。

主な変更点は、一次脳卒中センターへの相談

窓口の設置、他の疾患等に係る対策との連携、 リハビリテーションの充実、医療提供体制の強 化、HMネットを活用したひろしま脳卒中地域 連携パスの普及の5項目である。

報告事項

(1) ひろしま脳卒中地域連携パスデータ分析の 状況について

前回の委員会で決定したひろしま脳卒中地域 連携パスデータ分析を令和5年1月1日から県内 19の医療機関において開始している。回復期及 び生活期医療機関等から急性期医療機関にパス が送付された場合に報告することとされている が、調査開始直後のため、現時点ではデータ提 出はない。

その他

脳卒中地域連携パスに係る地域での連携の会の 実施状況について

脳卒中地域連携パスに係る地域での連携の会の実施状況・取り組み状況等について調査を実施する。

○発達障害医療支援体制検討特別委員会

日 時:令和5年2月6日(月)19時00分

場所:Web会議

(広島県医師会館 7階 702会議室)

委員長:松田 文雄

広島県障害者支援課より、発達障害の診療実態アンケート調査の結果報告と考察の説明があり、意見交換を行った。

議題

(1) 令和4年度発達障害の診療実態アンケート 調査結果について

発達障害の診療を行っている医療機関及び医師等の状況、初診待機の現状等を把握することを目的として定期的に実施しているアンケート調査の結果報告があった。令和4年度から新規項目として、「発達障害に係る受診者の状況(初診患者における発達障害の診断状況・初診時の医療以外の支援状況・セカンドオピニオンを目的とした受診の状況)」が加えられた。

初診待機期間が長期の医療機関ほど、発達障害の診断がつく初診患者が多い傾向にある。特に長期の待機が生じている専門医療機関では発達障害の診断がつく初診患者の割合が9割以上と多く、待機期間が長期になる場合は、支援のない期間も長期に続くため、初診の待機中からフォローを行うための体制の充実が重要となるなどの意見があった。

(2) 保育施設における発達障害の支援に関する アンケート調査について

初診待機の多い医療機関では、園所や学校の紹介をきっかけとした受診が多いこと、また新規受診者の約40%弱が6歳未満であることを踏まえ、発達障害の診療待機の長期化の解消には、保育施設における発達障害支援の実態把握が必要として、調査が行われた。

医師や対応医療機関を増やすことも大事であるが、一般の保育所、幼稚園、小学校のキャパシティーを上げていくことも重要であると考える。精神医学等を専門とする医師を増やすとともに、医師をサポートする仕組みや体制の構築を広島県に求めるなどの意見があった。

(3) 発達障害の初診待機の解消に向けた今後の取り組みの方向性について

広島県は、引き続き医療提供体制の充実に向けた取り組み及び家庭や学校などの日常生活レベルの支援を実施していく機能強化によって医療の負担を適正なものにしていく取り組みの両方を進めていきたいと考えている。

地域支援体制の見える化ツールの活用を推進 し、各地域の資源や連携の課題から、それぞれ の地域にあった体制を効果的に高め地域全体で の対応力を高めること、また、地域別に支援機 関の連携強化のための検討の場を設けることが 提案された。

その他

委員長から、令和5年1月15日(日)に開催された「令和4年度児童・思春期精神疾患の診療実態把握と連携推進のための研究の意見交換会」の概要と、日本精神科病院協会が「児童精神医学対策講習会専門対応チーム」を設置し次年度から年間9日間の研修が行われることについて報告があった。

○心血管疾患医療体制検討特別委員会

日 時: 令和5年2月16日(木)19時00分

場所:Web会議

(広島県医師会館 7階 702会議室)

委員長:中野 由紀子

広島県が策定する「広島県循環器病対策推進計画」の取り組み状況、第2次広島県循環器病対策推進計画について説明が行われた。広島県心血管疾患レジストリー研究の現状についてWGで出た意見を踏まえた修正案について報告があった。

協議事項

(1) 広島県循環器病対策推進計画 施策の取り 組み状況について

広島県健康づくり推進課より、広島県循環器病対策推進計画施策の取り組み状況について、「循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」「保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実」の2項目について説明があった。高齢化の進行に伴い、増加していく心不全患者に対応していくため、引き続き、取り組みを継続していくと説明があった。

(2) 第2次広島県循環器病対策推進計画について

第2次広島県循環器病対策推進計画の策定に係る概要が説明された。計画期間は令和6(2024)年度から令和11(2029)年度までの6年間、重点的に取り組むべき課題として「循環器病の発症予防・重症化予防・再発予防(予防)」「循環器病に係る質が高く適切な保健医療提供体制の確保(医療)」「循環器病患者の意思や希望が尊重され、安心して暮らせる社会の構築(共生)」の3点が挙げられた。

主な変更点は、相談窓口の設置、他の疾患等に係る対策との連携、リハビリテーションの充実、医療提供体制の強化、心臓いきいき連携病院の役割記載の5項目である。

報告事項

(1) 広島県心血管疾患レジストリー研究の状況 について

広島県健康づくり推進課よりWGで出た要 望・意見について対応方針が説明された。

【要望】

レジストリー研究の倫理審査は広島大学病院 での中央審査ではいかがか。

【対応方針】

倫理審査は中央審査とする方針で参加医療機 関名と責任者名を共同研究機関として記載する 予定。

【要望】

調査対象患者について明らかにしてほしい。

【対応方針】

「急性期病院に緊急入院した心血管疾患患者 | を対象とする。対象疾患は調査票に記載のある 疾患に絞り、受診手段は、救急搬送、自家用車、 徒歩いずれも対象とする。

【意見】

調査数、調査期間について、どの規模の調査 であれば統計学的に正確なデータとなるか。

【対応方針】

令和2年患者調査、令和2年度DPC導入の影 響評価に係る調査から広島大学病院の生物統計 の専門家に相談したところ、「7,000件程度、死

亡例が200件程度必要 | と教示いただいた。上 記の必要件数に近く、広島県内の84.7%をカバー できる計算となる「調査期間は1年、対象を17 医療機関 | でレジストリー研究を進めることと する。

【要望】

今回のレジストリー研究は救急患者を扱うこ とから、医療機関と消防がデータをやりとりで きる仕組みを検討してほしい。

【対応方針】

広島県救急搬送支援システムの実証実験にお いてデータ突合機能を試行する予定。

その他

委員から、レジストリー研究を行う際、虚血 性心疾患の患者にLDLコレステロールのコント ロールに係るリーフレットを配れないか。第8 次保健医療計画にコレステロールのことが触れ られていないため、このような機会に働きかけ をしてはどうかとの提案があった。委員長から は、患者への情報提供としては良い取り組みで あるとの意見があり、リーフレット案を作成し、 健康づくり推進課、委員長と検討することと なった。また、第8次保健医療計画へコレステ ロールの管理について盛り込むかについても検 討することとした。

県地対協からの提供資料について

県地対協では以下の県内共通クリティカルパス、パンフレット、マニュアル等を作成しています。 ご入り用の際は下記事務局までご連絡ください。

【地域連携クリティカルパス】

- 乳がん患者さんのための「わたしの手帳Ver.7」
- 肺がん術後患者用「わたしの手帳Ver.3」 心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス
- 心筋梗塞・心不全手帳の使い方 前立腺がん 手帳 地域連携パス ご本人・ご家族用
- 前立腺がん
- 甲状腺がん 手帳 | 大腸がん
 - 丰帳 地域連携パス
- ○大腸がん内視鏡治療後患者用手帳
- ○胃がん 手帳 地域連携パス ○胃がん内視鏡治療後患者用手帳

など

【パンフレット・マニュアル】

○ACPの手引き 「豊かな人生とともに…」

【事務局】広島県医師会地域医療課 電話:082-568-1511 Eメール:citaikyo@hiroshima.med.or.jp



乳がん患者さんのための 「わたしの手帳 Ver.7」

わたしの手帳



肺がん術後患者用 「わたしの手帳 Ver.3」



心筋梗塞・心不全 手帳 地域連携パス



心筋梗塞・心不全手帳の使い方 ご本人・ご家族用



手帳 地域連携パス



手帳 地域連携パス







大腸がん 内視鏡治療後患者用手帳

胃がん 手帳 地域連携パス

わたしの手帳

胃がん 内視鏡治療後患者用手帳

※一部ホームページにて公開中 広島県 地対協 検索 📉

など